

戦争は終わらない ～ 兵士たちの記憶と戦後

鎌倉市川喜多映画記念館では、鎌倉市の平和都市宣言に基づき、毎年夏に「戦争と平和」をテーマにした特集上映を開催しています。今回は、戦時中に日本軍の一兵士として外地で戦い軍隊の悲惨さや上官の裏切りを経験した者が、その記憶を抱えながら戦後をどう生きたかを描いたドキュメンタリー2作品を上映します。当事者にとって決して終わることのない戦争は、後の時代を生きる私たちに何を突き付けるのでしょうか。



2005年 / 蓮ユニバース / カラー / 101分 / 35mm

監督:池谷薫 出演:奥村和一、金子傳、村山隼人、宮崎舜市

1

10:30

8.9日(月・振) 12日(木) 14日(土)

14:00

8.11日(水) 13日(金) 15日(日)

1945年8月15日、ポツダム宣言の受諾によって日本は終戦を迎えたはずだった。だが中国・山西省に派遣されていた約2600人の軍隊は、上官が交わした密約によって中国の内戦に巻き込まれ、国民党軍側について共産党軍との熾烈な戦いを続けた。やがて帰国した彼らを待っていた理不尽な仕打ちに対し、裁判で国を相手に戦い続ける奥村和一は、証拠資料を求めて赴いた中国の地で自らの加害性に直面し、戦争の記憶を手繰り寄せていく。歴史に翻弄されつつも、運命から目を逸らさず、に真実をめつた元日本兵の姿から戦争の忌まわしさが浮かび上がる。



1987年 / 疾走プロダクション / カラー / 122分 / DCP

監督:原一男 出演:奥崎謙三、奥崎シズミ

2

10:30

8.11日(水) 13日(金) 15日(日)

14:00

8.9日(月・振) 12日(木) 14日(土)

第二次大戦中、激戦地となったニューギニアに派遣された奥崎謙三は、飢えとマラリアに苦しみながら敗走を重ねる日本軍の中でたびたび上官に暴行を働き、豪州軍の捕虜となって復員した。暴力を辞さない奥崎の反骨精神は戦後も衰えることを知らず、神戸で商売を営みながら逮捕と服役を重ねる中、敗戦から23日後に部隊内で隊長による部下銃殺事件が起こったことを知ると、奥崎はかつての上官たちを訪ね歩き事件の真相を問い詰めていく。極限状態を経験した人間たちの戦後の姿から、戦争の狂気が浮かび上がる衝撃作。

	8.9日(月・振)	8.10日(火)	8.11日(水)	8.12日(木)	8.13日(金)	8.14日(土)	8.15日(日)
10:30	1 蟻の兵隊	休館	2 ゆきゆきて、神軍	1 蟻の兵隊	2 ゆきゆきて、神軍	1 蟻の兵隊	2 ゆきゆきて、神軍
14:00	2 ゆきゆきて、神軍		1 蟻の兵隊	2 ゆきゆきて、神軍	1 蟻の兵隊	2 ゆきゆきて、神軍	1 蟻の兵隊 +上映解説
+上映解説	8月15日(日)午後の回終了後上映作品について学芸員が解説します。(約30分)						

映画鑑賞料金（展示観覧料含む）：一般1000円、小・中学生500円 チケット発売開始日：7月17日（土）

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。 ※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(8月9日は開館)、8月10日

主催:川喜多・KBSグループ【鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者】



Kamakura City Kawakita Film Museum

HP: <https://kamakura-kawakita.org>